

長野労働局発表（28-27）
平成 28 年 8 月 1 日

担 当	長野労働局職業安定部職業安定課
	課 長 中村 広文
	課長補佐 竹村 典幸
	電話：026-226-0865 Fax：026-226-0157

ハローワークのマッチング機能に関する業務の総合評価の結果

～ 平成 27 年度の総合評価の結果及び平成 28 年度の目標を設定 ～

長野労働局（局長：^{おかぎきなおと}岡崎直人）では、継続的な業務改善によるハローワークのマッチング機能の強化のために実施してきた平成 27 年度ハローワークのマッチング機能に関する総合評価の結果と、新たに設定した平成 28 年度目標を報告します。

全国の労働局・ハローワークにおいては、ハローワークの機能強化を図るため、ハローワークのマッチング機能に関する業務の総合評価、評価結果に基づく業務改善を平成 27 年度から一体的に実施しています。（長野労働局ホームページ掲載。別添 1 参照）

長野労働局における平成 27 年度の実績への総合評価の結果を報告します。

局内 12 所のハローワークの総合評価結果は、「非常に良好な成果」1 所、「良好な成果」4 所、「標準的な成果」7 所で、全体的として標準以上という結果となりました。

この結果を受けて各ハローワークでは、各種の実績の結果及び業務改善の実施状況等を「就職支援業務報告」としてまとめており、また、平成 28 年度における目標値を設定し取り組むこととしましたので併せて報告します。（長野労働局ホームページ掲載。別添 2 及び別添 3 参照）

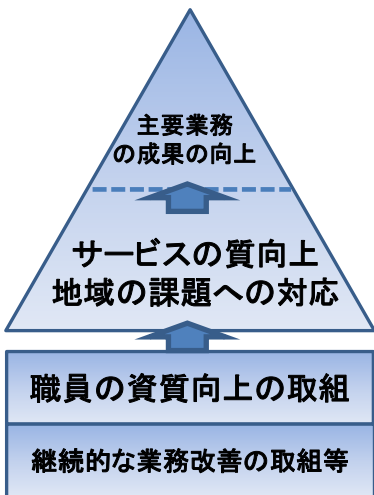
長野労働局及び各ハローワークでは、平成 27 年度の総合評価の結果を踏まえ、平成 28 年度の目標達成と、利用者サービス向上のための中長期的な業務の質の向上や継続的な業務改善の強化に取り組んでまいります。

ハローワークのマッチング機能に関する業務の評価・改善の取組（概要）

ハローワークの機能強化を図るため、従来の目標管理・業務改善の拡充、マッチング機能に関する業務の総合評価、評価結果等に基づく全国的な業務改善を、平成27年度から一体的に実施。


PDCAサイクルによる 目標管理・業務改善の拡充

- 現行の取組（就職率等を指標にしたPDCAサイクルによる目標管理）を拡充し、業務の質の指標を追加。
- 地域の雇用の課題を踏まえ重点とする業務に関する指標を追加。
- 中長期的な就職支援の強化のため、職員の資質向上や継続的な業務改善の取組を推進。



短期的な成果の向上だけでなく
中長期的な業務の質向上・業務改善を図り
就職支援を強化

ハローワークのマッチング機能 の総合評価・利用者への公表

- 業務の成果や目標達成状況等を定期的に公表
→ 主要指標の実績を毎月、年度後半の取組強化のための分析を年度末に、総合評価を年度終了後に公表
- 業務の成果や質、職員の資質向上・業務改善の取組等の実施状況をもとにハローワークの総合評価を実施。
→ 労働市場の状況や業務量が同程度のハローワークをグループに分け、その中で比較し評価
- ハローワークごとに実績・総合評価及び業務改善の取組等をまとめ、労働局が公表。


重点的に取り組んだ事項、業務改善を図った事項、業務改善が必要な事項、総合評価、基本統計データ、指標ごとの実績及び目標達成状況などを公表
- 労働局は地方労働審議会、本省は労働政策審議会に報告。

評価結果等に基づく 全国的な業務改善

- 評価結果等をもとに本省・労働局による重点指導や好事例の全国展開等を実施。
 - ① 評価結果等をもとに労働局・ハローワークに対する問題状況の改善指導
 - ② 改善計画を作成、本省・労働局が重点指導（評価期間終了後）
 - ③ 好事例は全国展開（評価期間終了後）
労働市場の状況や業務量が同程度のハローワークによる交流会も開催

総合評価の構成

ハローワークのマッチング機能の総合評価は、全ハローワークで共通する指標による評価と、ハローワークごとに地域の特性等を踏まえ重点的に取り組む業務や継続的な業務改善等に関する評価を総合的に勘案して実施。

総合評価を実施

※所重点指標は、ハローワークごとに、評価対象とする業務・取組を選択

全ハローワークで共通する評価 (全所必須指標)

(1) 主要指標による評価

ハローワークのマッチング機能に関する業務のうち特に中核業務の成果を測定する指標に基づく評価

- 就職者数
- 求人充足数
- 雇用保険受給者の早期再就職件数

(2) 補助指標による評価

ハローワークのマッチング機能に関する業務の質を測定する指標に基づく評価

- 満足度調査
- 紹介成功率

ハローワークごとの重点的な取組の評価 (所重点指標・所重点項目)

(1) 所重点指標による評価

ハローワークのマッチング機能に関する重要業務のうち、地域の雇用に関する課題等を踏まえ、ハローワークごとに重点として取り組む業務に関する指標に基づく評価

- 障害者の就職者数
- 正社員求人数
- 生活保護受給者等の就職者数 など

(2) 所重点項目に対する評価

中長期的なマッチング機能向上のための、職員の資質向上の取組や継続的な業務改善の取組等の実施状況の評価

- 職員による事業所訪問の実施
- 求職者担当者制の実施
- 職員による計画的なキャリア・コンサルティング研修の受講
- 好事例を導入した業務改善を実施 など

総合評価の方法

総合評価は年度単位で実施する。年度終了後に、ハローワークごとに、年度合計の指標・項目の実績をポイント化し、それを合算して、評価する。

①年度当初に定めた目標への達成状況を基に、指標ごとに、予め定められたポイント数の範囲内で、ポイントを付与する。

A指標の目標達成率



A指標のポイント数



〇〇ハローワークの
A指標のポイント

※目標達成状況によるポイントは、所重点項目を除く各指標(主要指標・補助指標・所重点指標)について計算。

②業務実績が例年より上回った場合に、ポイントを付与する。

※主要指標について、過去3年間の実績と比較し、過去3年間の平均を上回る場合にポイントを付与。

③所重点項目の実施状況を基に、ポイントを付与する。

※中長期的な観点から必要となる職員の資質向上のための取組や継続的な業務改善の取組を実施した場合にポイントを付与。

①～③のポイントを合計し、ハローワークごとに、総ポイント数を計算する。

類似するハローワークからなるグループ内で、総ポイント数等を比較し、評価する。

※労働市場の状況や業務量が同程度のハローワークを11グループに分類。

※評価は本省で実施し、評価結果を労働政策審議会に報告。

※評価結果は、ハローワークにおいても、実績値、業務改善事項、総合評価結果(4段階)等をまとめて公表。

平成27年度における総合評価結果総括

全ハローワークについて、各評価（類型）ごとの数は下表のとおり。

- 〔 全国のハローワーク 427 所を対象
 〔 茨城労働局常総所及び熊本労働局管内各ハローワーク（9 所）は災害等の影響により対象外 〕

- 各グループごとに平均値を基準とし、平均値以上を類型 1・2、平均値未満を類型 3・4 に区分
- 目標達成率 100%を満点とみなし、満点以上を類型 1
 （満点について、目標達成率が 100%以上の場合は満点を超える場合があり得る。）
- グループ平均値の 80%未満のポイントとなったものを類型 4
 （規模が大きい 1G は平均値の 90%未満、2～5G は平均値の 85%未満と、基準を高く設定）
 により実施

	評 語	ハローワーク数	
		全 国	長野県
類型 1	非常に良好な成果	16	1
類型 2	良好な成果	198	4
類型 3	標準的な成果	207	7
類型 4	成果向上のため計画的な取組が必要	6	0
		427	12

〔参考〕

評価グループ	満点	平均値
1G	1215	1109
2G		1077
3G		1078
4G	1200	1061
5G		1045
6G		1067
7G		1047
8G		1049
9G		1061
10G		1043
11G		1041

ハローワーク長野 就職支援業務報告（平成27年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、就職件数や求人充足件数の目標達成をするため、求人受理部門が仕事内容・採用条件など詳細な求人情報を紹介部門へ周知することや、紹介担当者の「事業所訪問」により求人票記載内容以上の情報を求職者に案内することなどの取組を行いました。

8月実施の「大卒等就職面接会」は、採用選考時期の後ろ倒しに対応するため、バスのフロント広告や列車等へのポスターの掲示による県外学生の親への開催周知を行った他、参加企業ブースの拡大を図り、144社288名（平成26年度は99社166人）の参加で開催しました。

平成27年度全国初の就労支援強化モデル矯正施設に長野刑務所が選定され、相談員を駐在させて在所中の就職内定を目指し、職業相談・職業紹介等を実施いたしました。また、長野市と長野労働局との協定に基づき、生活保護受給者等に対し市が行う福祉等に関する相談業務とハローワークによる就労支援を一体的に実施する常設窓口「福祉・就労支援コーナー(ジョブ縁ながの)」を県内で初めて開設しました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

利用者満足度調査、ハローワークへの投書を分析して、求人者目線を意識した新たな求職者向け資料「採用担当者のコメントで見る応募書類作成・面接対策パンフレット」を作成し、窓口及び各種セミナーでの活用を図りました。求人票返信の際には送付文に、求人申込時の注意事項などを記載して求人内容の適正化を図っています。

またポスター掲示、パンフレット棚の整備、所内配置図や表示板等所内の環境整備を行いました。

（3）今後のサービス・業務改善の取組について

「応募書類の作り方講座」23回151人、「模擬面接セミナー」35回66人と、各々開催しましたが、当初予定より参加者等が少なかつたため、求職者の参加が増えるように案内方法、実施日や開催時間帯を検討します。また、正社員求人を対象とした「ミニ面接会」を当所会議室において年12回開催し、求人事業所とのプレ面接の機会を設けるとともに、職員も参加事業所の事業内容等の把握と求職者への情報提供に努めます。

（4）その他業務運営についての分析等

正社員就職件数は2,184件と計画数を達成しましたが、今後も積極的・能動的マッチングを行い、正社員求人への応募勧奨や良質で充足可能性の高い正社員求人の確保に努めます。

なお、在職求職者等平日日中に当所を利用できない方を中心としてサービス提供時間の延長を引き続き実施します。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 特記事項

平成 27 年度から新たに雇用保険受給者の早期再就職のため、雇用保険説明会で求人情報の提供を行い、来所された際に提供した求人情報に基づく職業相談を実施しています。

また、「在職者のための転職ガイド」を作成し、在職求職者の転職相談やマッチングにおけるアドバイス資料として効果的に活用しています。

さらに、採否結果通知書の採用者のコメント及び不採用者のコメントを分析、整理し、「採用担当者のコメントで見る応募書類作成・面接対策パンフレット」として完成させ、職業相談やマッチングにおけるアドバイス資料として効果的に活用しています。

4 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職者数	求人 充足数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職者数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介 成功率	障害者の 就職件数	学卒ジョブサ ポーターの 支援による 正社員就職 件数	マザーズハロー ワーク事業にお ける担当者制に よる就職支援を 受けた重点支援 対象者の就職率	正社員 求人数	正社員 就職件数
実績	4,916	5,703	1,236	100%	97.9%	21.6%	308	777	88.6%	10,764	2,184
目標	5,004	5,870	1,042	90%以上	90%以上	19.3%	273	714	87.5%	10,430	2,184
目標達成率	98%	97%	119%			112%	113%	109%	101%	103%	100%
(参考)過去3年度平均	5,362	6,307	1,057								

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク松本 就職支援業務報告（平成27年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、所重点項目においては「正社員求人の確保」を最重点として、求人事業所への働きかけ方法、正社員求人にする事の利点等について、所内で検討・整理し求人事業所への説明を行うなどの求人部門全体で統一した取組を推進しました。この結果、正社員求人数の実績は前年度実績、今年度目標値を大きく上回ることができました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

アンケートの結果についてはほとんどの利用者から好評価を得ることができました。より利用者サービスの改善等を図るため、待合スペースの拡充・整理を内容とする所内レイアウトの見直しを行っており、各窓口への導線が改善され、所内の往来がスムーズになりました。

（3）今後のサービス・業務改善の取組について

サービスの柱である就職件数のさらなる増加を図るため、求職者に対しては、求人情報の積極的な提供による紹介件数のさらなる増加、採否結果分析等による就職実現に向けた意識啓発、応募書類等の添削・支援のさらなる充実等を図ります。

特に主要指標の目標達成に向けて、窓口相談時にリアルタイムでマッチングを行って求人情報を求職者に提供する「Rマッチング」の取組や、重点項目の中では、積極的に双方向の「求職者担当者制」及び「求人担当者制」を実施します。また、職員等の資質の向上のため、労働局で開催されるキャリアコンサルティング研修等に積極的に職員等の参加を促す等支援を行っていきます。

（4）その他業務運営についての分析等

平成27年度は正社員求人数の拡大について目標値を上回る実績となりましたが、求人全体では依然としてパート求人・派遣求人等の非正規求人が多くを占めていて、新規求人に占める正社員求人の割合は依然として30%台で推移しているため、引き続き求人事業所に対して正社員求人の提出をさらに促していきます。そのため「正社員実現（求人確保・求人充足）のための取組フロー」を作成し、求人受理段階から充足の可能性をさらに高める取組を実施します。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 特記事項

マッチング向上のため、以下の取組を実施し成果をあげています。

- ・就職支援の好事例と評価された「正社員求人受理時における該当求職者の確認及び求人条件緩和指導」の取組により、求人受理時を好機として捉え条件緩和指導を実施。
- ・マッチング後求人票を求職者に送付する際、「応募を希望しない理由」についてのアンケートによる確認を行い、マッチング精度を向上。
- ・「ミニ面接会（チャレンジ面接会）」に積極的に取り組み、特に正社員求人を中心に事業所選定を行い、所内放送や求人自己検索システムトップ画面での案内等により求職者へ積極的に周知。
- ・受給者に対し雇用保険手続後早い段階で「アンケート（初回認定日確認表）」を実施し、受給者の意向を踏まえた職業相談を実施。

4 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険 受給者早期再就職 件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介 成功率	生活保護 受給者の 就職件数	障害者の 就職件数	学卒ジョブ の支援によ る正社員 就職件数	正規雇用 に結びつい たフリータ ー等の就 職件数	マザーズ 重点支援 対象者の 就職率	正社員求 人数	正社員就 職件数
実績	6,153	5,957	1,868	95.6%	98.2%	23.9%	120	384	430	682	88.7%	12,499	2,917
目標	6,587	6,547	1,775	90.0%	90.0%	18.3%	134	383	359	699	87.5%	12,052	3,069
目標達成率	93%	91%	105%			131%	90%	100%	120%	98%	101%	104%	95%
(参考) 過去3年度平均	6,984	6,916	1,796										

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク上田 就職支援業務報告（平成 27 年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、就職件数の目標達成を最重要と考え、特に重点的に進めることとし、双方向性の求職者担当制の実施や応募書類の作成支援などの取組を行いました。

特に就職件数、就職率を向上させるため、求職者への郵送による情報提供、就職支援セミナーの開催等により紹介件数の上積みを図り来所勧奨型紹介に結び付けました。

また、正社員を募集する事業所への職員による訪問を積極的に行い、事業所見学を通じて求人内容の詳細な説明を受け、訪問記録簿等の作成により全職員に周知し、求職者の職業相談へ活用するなど、適格紹介（注）に努めました。

（注）「適格紹介」とは、人と職業との結合の観点に立って、求職者に対しその能力に適合する職業を紹介するとともに、求人者に対してその雇用条件に適合する求職者を紹介することである。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

サービス改善に係る自主点検の中で、支援サービス案内リーフレットの内容が項目を並べてあるだけで視覚に訴える作りになっていないとの指摘があったことから、利用者に理解してもらえるようリーフレットに図やイラストを取り入れて見やすくするなどの改善を行いました。

（3）今後のサービス・業務改善の取組について

求人充足、適格紹介の向上に向け、求人充足検討会議の実施方法を見直し、所内の情報共有化の体制強化を図ります。これによりマッチング能力を向上させ、求職者への求人の情報提供を積極的に実施し、窓口相談への誘導の促進を図ります。

ミニ面接会の開催について平成 27 年度は 65 回開催しましたが、当初予定より参加者が少なくなりました。平成 28 年度は参加事業所の選定、求職者への効果的な周知・参加勧奨について、他のハローワークの取組なども参考に、ハローワークが主体的に企画して実施する方法に改善します。

さらに、若者対象の少人数によるミーティングについては、参加された皆様から大変好評であったため、随時実施方法の検討など改善を図りながら継続実施します。

(4) その他業務運営についての分析等

平成27年度は、当所管内の主要産業である製造業において先行きの不安から派遣求人が増加し、正社員求人数・就職件数が期待どおりに伸びませんでした。今後は、各種助成金を周知・活用するなどにより、できるだけ多くの正社員求人の確保に努め、就職促進を図ります。

また、懇切・公正・迅速な利用者サービスの提供に向け、職員全体の能力を向上させるため、労基法や個別労働紛争解決制度等の所外講師による研修を実施するとともに、所内の専門相談員等を講師とする個別業務の所内研修等に取り組みます。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 特記事項

4 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介 成功率	障害者の就 職件数	マザーズH W重点支援 対象者の就 職率	正社員求人 数	正社員就職 件数			
実績	3,663	3,536	920	98.5%	98.0%	23.2%	153	89.6%	6,939	1,704			
目標	3,682	3,594	856	90.0%	90.0%	19.0%	190	87.5%	6,830	1,651			
目標達成率	99%	98%	107%			122%	81%	102%	102%	103%			
(参考)過去3年度平均	3,940	3,848	880										

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク飯田 就職支援業務報告（平成 27 年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、平成 27 年 7 月 1 日に新規開所となった「ハローワーク飯田マザーズコーナー」の適切な業務運営の確保を主眼とした「マザーズ事業の担当者制による重点支援対象者の就職率」の目標達成や、管内に 23 の中学、9 の高校、短大専門学校 3 校を有し、例年、多くの新規学卒就職者を社会に送り出す状況から、「学卒ジョブサポーターの支援による正社員就職件数」の目標達成、長野局内でも特に高い、新規求人に占める正社員求人割合（平成 27 年平均 43.7%）を背景とした「正社員就職件数」の目標達成を最重要と考え、特に重点的に進めることとしました。

マザーズコーナーでは飯田市、長野県との密接な連携を図り、同施設内にある「飯田市子ども家庭応援センター（ゆいきっず）」との合同開所式を行い、県との連携ではセミナーの開催等、県と労働局との協定の締結による取組を積極的に進め、学卒ジョブサポーターの支援では、対象者を積極的にハローワーク窓口呼び込むことが重要と考え、電話、メール等での呼びかけを集中的に行い、正社員就職では、高い正社員求人割合に応えるべく、雇用保険受給者等を対象に独自のハローワークセミナーを開催し、応募書類作成支援等を積極的に行うなどの取組を行いました。

特に、各取組の中心には、求職者担当制及び求人担当制への積極的な取組が重要と考え、求職者担当制では、就職件数 165 件・就職率 42.9%以上を目標として、就職件数 390 件・就職率 77.7%の実績をあげ、求人担当制では、求人件数 126 件、充足件数 51 件以上を目標として、求人件数 195 件、充足件数 115 件と成果をあげることができました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

利用者アンケートでは、利用者満足度において、求職者 97.2%。求人者 97.6%と 90%以上とした目標値は達成できましたが、個別項目では、所内案内表示、見やすいポスター掲出、わかりやすい陳列等の項目が低調でした。従来から取り組んでいる項目ではありますが、当該事項の改善のため、所内に、「案内表示、展示物陳列掲示等向上委員会」を設置し、改善事項の検討並びにその実施を進めていくこととしました。

また、アンケート自由記載欄からの意見として、窓口職員間での相談技法、接遇等の差異を指摘されていることから、相談窓口職員の相談技法、接遇等のレベルアップと標準化のため、キャリアコンサルタント有資格者を講師とした研修、部門打合せ会での研修等を実施することとしました。

（3）今後のサービス・業務改善の取組について

利用者アンケートの求人者の自由記載欄にも、多くの求人充足に関する要望が挙げられています。管内の人手不足の分野である建設分野、介護分野等からの要望も多く寄せられている状況にある中で、公共職業訓練等の受講促進やミニ面接会等の積極的開催により職種間のミスマッチ解消を図っていくこととします。

(4) その他業務運営についての分析等

所管内の正社員求人については、新規求人に占める正社員求人の割合は比較的高く、長野労働局全体が35%後半の数値に対して、当所の割合は平成26年の月平均42.4%と40%を超え、全国平均よりも高い状況にあります。非正規の正社員化に向けた「正社員転換・待遇改善実現プラン」の平成28年度における具体的な取組として、正社員求人数、正社員就職件数などを所重点指標に掲げた取組を進めることとします。

また、当所管内において、平成27年8月に食品等を中心に行う事業所が破産したことにより、管内44名、伊那所10名、諏訪所29名合計83名の大量離職者が発生したところです。隣接の伊那所並びに、飯田市、駒ヶ根市等と連携し緊急雇用対策会議を開催、情報の共有と離職者支援策を協議し、面接会の開催など具体的な支援を実施しました。管内においては、全体的に堅調に推移している雇用情勢の中、多くの企業が高い求人意欲を示してはいるものの、一部には事業所閉鎖、人員整理といった状況も見られ、2極化も窺える状況にあり、今後ともその対応を迅速に行っていく必要があるものと考えています。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 特記事項

4 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介 成功率	学卒ジョブ 正社員就職 件数	マザーズ重 点支援対象 者の就職率	正社員就職 件数	開拓求人の 充足数	所で選択 して記載	所で選択 して記載	所で選択 して記載
実績	3,053	2,918	777	97.6%	97.2%	31.7%	292	98.2	1,467	802			
目標	3,153	3,047	699	90.0%	90.0%	28.2%	261	85.2	1,470	750			
目標達成率	97%	96%	111%			112%	112%	115%	100%	107%			
(参考)過去3年度平均	3,396	3,229	761										

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク伊那 就職支援業務報告（平成27年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、「就職件数」の目標達成のためには、職員によるマッチング機能を高めることが重要であると考え、求職者担当制による就職支援に取り組みました。

求職者担当制による就職支援では、早期に就職が必要な方や再就職に向けてハローワークによる支援の必要性が高い方を中心に、正社員求人を中心に積極的なマッチングによる求人情報の提供を行い、ハローワークへの来所を促して職業相談・紹介状の交付を行うとともに、応募書類（履歴書、職務経歴書）の作成支援を積極的に行いました。（年間担当者数403人、就職件数238件、就職率61.3%）

また、職員のマッチング能力を高めるため、個々の求人情報提供件数や職業相談・紹介件数を把握して、職員に対するヒアリングにより改善策の検討・指導を行いました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

利用者アンケートの結果では、当所は「庁舎内の清潔さ」、「見やすいポスター掲示」、「わかりやすい陳列」について指摘を受けたので、ポスター掲示の優先順位や内容の統一性等見やすいレイアウトを考えた陳列に努めるとともに、内容ごとに担当を決め、定期的なチェック体制を図る等の業務改善に取り組んでいます。

（3）今後のサービス・業務改善の取組について

- ・求人企業のニーズの把握に努めるとともに、仕事内容等の画像情報を積極的に収集するため、職員による積極的な事業所訪問を行い、求職者に情報提供できるよう取り組みます。
- ・求人充足のための打ち合わせを積極的に開催して、事業主へのフォローアップを図るとともに、所内会議室を会場としたミニ面接会の計画的な開催により求人充足の促進に取り組みます。
- ・雇用保険を受給中の方へ、給付制限期間中を含めて積極的に求人情報を提供して、再就職支援に取り組みます。

（4）その他業務運営についての分析等

当所管内の特徴として、新規求人に占める正社員求人の割合が低いことから、安定した雇用が確保できるよう正社員求人等の求職者ニーズに沿った求人の開拓に取り組みます。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 特記事項

- ・若年人材（労働力）確保のため、管内地方自治体・経済団体・金融機関で構成する「上伊那地域若者人材確保連携協議会」と連携して、就職面接会や企業説明会の開催に取り組みます。
- ・人員整理等による離職者の就職促進のため、正社員求人等の求人確保に努め、求職者への情報提供等に取り組み、早期再就職を図ります。

4 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介 成功率	障害者の就 職件数	正規雇用 に結びつ いたフリー ター等の 就職件数	正社員求 人数	正社員就 職数	所で選 択して記 載	所で選 択して記 載	所で選 択して記 載
実績	3022	2952	777	99.2%	98.9%	29.4%	164	344	5908	1398			
目標	3014	2939	795	90.0%	90.0%	23.5%	161	275	5643	1352			
目標達成率	100%	100%	98%			125%	102%	125%	105%	103%			
(参考)過去3年度平均	3170	3072	837										

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク篠ノ井 就職支援業務報告（平成27年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、就職件数の目標達成を最重要と考え、特に職員が求人・求職のマッチング精度を高めるために、「求職者担当制」による職業相談や職業相談担当職員による事業所訪問などの取組に励みました。

特に職員による求人事業所への訪問により、求人票の記載内容の把握と事業所画像情報を収集し適格紹介（注）に努め、求職者に対しては応募段階での書類作成支援や模擬面接を実施することで面接に向けての準備性を高めることを心がけました。

また、平成28年2月以降は求職者との職業相談の際に、事業所画像情報を提供しながら求人内容を説明するなどの取組も開始し、求人閲覧端末による検索よりさらに詳細な情報に基づいて就職に繋げています。

（注）「適格紹介」とは、人と職業との結合の観点に立って、求職者に対しその能力に適合する職業を紹介するとともに、求人者に対してその雇用条件に適合する求職者を紹介することである。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

利用者アンケートでは、再就職支援メニューの説明が窓口職員によって差があるとの意見があったため、求人閲覧端末に「お知らせ情報」を掲載することで端末利用者にホットな情報を提供しています。

また、平成28年3月以降「窓口案内システム（ボイスコール）」を導入し、窓口利用者の順番待ちと職員による窓口利用者の呼出について、よりスムーズに行えるようにするなどの改善を行いました。

（3）今後のサービス・業務改善の取組について

求人充足サービスとして、平成27年11月以降「求人担当制」による取組を開始しましたが、人材確保が難しい業種・職種を対象としたためその成果が実感できていません。毎週1回開催している求人充足会議を活用して、より実効性のある充足サービスを展開します。

（4）その他業務運営についての分析等

平成27年度は、当所管内の求人受理状況は対前年比において伸び率が鈍化しているものの、主要産業である製造業を中心に正社員求人が比較的多く、求人全数に占める正社員求人の割合が他の地域より高い状況が続いています。今後も、求人開拓の重点及び求人充足の重点を正社員に置き、できるだけ多くの正社員求人を受理、あっ旋していきます。

また、人材確保が難しい介護・看護・保育分野の求人充足を進めるためにも、これら職種を希望する求職者の就職支援に力を入れていきます。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 特記事項

全所一丸となって就職支援や求人充足を積極的に進めるため、年度当初に総合評価にかかる取組姿勢等を所内で説明し、業務遂行の認識を共有するため、毎月の進捗状況を全員が確認しています。

また、就職支援のスキルアップを図るための「朝いちミニ研修」や、求人内容の理解を深める専門研修などハローワーク職員のプロ意識をレベルアップするため幅広い研修に力を入れていきます。

4 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介 成功率	生活保護受 給者等の就 職件数	障害者の就 職件数	正規雇用に 結びついた フリーター等 の就職件数	介護・看護・ 保育分野の 就職件数			
実績	3,173	3,361	808	99.0%	96.9%	25.1%	45	166	546	406			
目標	3,077	3,263	825	90.0%	90.0%	21.2%	32	173	362	403			
目標達成率	103%	103%	98%			118%	141%	96%	151%	101%			
(参考)過去3年度平均	3,192	3,388	784										

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク飯山 就職支援業務報告（平成27年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、若者の雇用対策の推進の取組を所重点項目に掲げ、学卒ジョブサポーターの支援による就職者数、正規雇用に関わったフリーター等の就職数及び就職に関わった可能性が高い正社員求人数の確保について、当該目標値の達成に向け、特に重点的に進めることとしました。

このため、若者に対する窓口での就職支援の他、学卒ジョブサポーターが定期的に管内高等学校に出向き学校との連携を強化するとともに、就職を希望する生徒の在学時からの支援として「高校二年生の高校内企業説明会」を開催し、在学中の早い段階からの職業意識啓発を図ることができました。

また、管内事業主に対し積極的な若者の雇用・育成を図る「若者応援宣言企業」の更なる普及拡大を図り、平成25年度1社、平成26年度0社から平成27年度は12社に宣言企業数を拡大しました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

利用者アンケートでは、求人者・求職者ともに「わかりやすい展示」や「わかりやすい陳列」に対する意見・要望が多かったため、事業主及び求職者の目的別のリーフレット等の資料の配置による改善を行いました。

（3）今後のサービス・業務改善の取組について

求職者等からの小規模面接会に対する要望があり、平成27年度は17回開催したものの、業種が「警備」「生保」及び「派遣」に偏り、結果として就職は2件に留まりました。

今後、利用者視点に立った質の高いマッチング業務を実施していくために、職員の資質の向上を図るとともに、具体的には、以下の取組を計画的に実施し、目標達成を目指します。

- ・事業所訪問を積極的に行い、正社員等の求人確保に努めるとともに、より詳細な事業所情報を提供。
- ・正社員求人を中心に求職者ニーズを踏まえた求人を対象としたミニ面接会（管理選考）を実施。

（4）その他業務運営についての分析等

当所では、就職に関わった可能性の高い正社員求人数が近年伸び悩んでいたため、求人者支援員による事業所訪問の他、管内の商工会議所・商工会や業界団体等と連携し、正社員求人の開拓に取り組みました。来年度においても求職者ニーズに沿った正社員求人の開拓に積極的に取り組んでいきます。

また、管内の雇用情勢について、ローカル紙に発信し、引き続き管内地方自治体へ労働市場情報及び求人情報を提供するとともに、雇用対策等に係る情報交換を随時行うこととします。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 特記事項

4 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介 成功率	学卒ジョブサ ポーターの 支援による 正社員就職 件数	ハローワー クの職業紹 介により、正 規雇用に結 びついたフリ ーター等の 就職数	正社員求人 数	所で選択 して記載	所で選択 して記載	所で選択 して記載	所で選択 して記載
実績	1,520	1,366	343	98.2%	98.2%	36.3%	101	193	2,398				
目標	1,475	1,221	357	90.0%	90.0%	28.9%	85	179	2,076				
目標達成率	103%	112%	96%			126%	119%	108%	116%				
(参考)過去3年度平均	1,510	1,261	366										

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク木曾福島 就職支援業務報告（平成27年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、「雇用保険受給者の早期再就職件数」及び「正社員就職件数」を特に重点的に進めることとし、雇用保険受給者の就職対策では、担当者制による定期的な求人情報の提供、来所相談勧奨・紹介を行いました。

また、正社員就職対策では、正社員求人の確保、非正社員求人の正社員求人への転換要請を実施し、管理選考、求人担当者制によるマッチングに取り組み、目標件数を達成しました。

なお、管理選考は、事業所見学を併せて実施することにより、詳細な仕事内容の理解、求人事業主の経営方針・求める人材の把握に役立ったなど、求人者及び求職者双方から評価を得ています。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

事業所から、労働力確保（特に若年労働力）に苦慮しているとの声が多く寄せられていたため、当所は小規模所ではありますが、単独で就職面接会を開催しました。また、求職者が減少傾向にあったことから、ハローワークによる支援を必要とする求職者に対して当所の利用を促進するため、6月～12月にかけて当所を利用したことはあるものの最近では来所のない求職者等に対してダイレクトメールを送付し求職の再登録の呼びかけを行いました。

利用者アンケートでは、職業相談時の声量調整の必要性などプライバシーに配慮した相談の実施について指摘があったため、職員研修や意識啓発カードを作成・携帯するなど、プライバシーに配慮した対応を日常的に意識するよう改善に取り組みました。

また、職業訓練の案内については、「分かりづらい」という意見を踏まえ、リーフレットの配架方法を見やすいものに改善しました。

（3）今後のサービス・業務改善の取組について

求人数、求職者数が減少の動向にある当所において、いかに効果的にマッチングを図っていくかが課題であり、ミニ面接会、担当者制等の実施とともに、日々の相談業務において求人情報の提供等きめ細やかな対応に取り組みます。また、人手不足が顕著となっている介護・看護分野への就職促進を図るため、福祉ジョブセミナーの周知と参加勧奨等に積極的に取り組むとともに、福祉人材求人情報を定期的に発行します。

雇用保険受給者の就職促進対策については、給付制限対象者の認定応当日の相談者を一層増加させるとともに、求人情報の提供が紹介に結び付き、早期再就職が実現するよう取り組みます。また、引き続き事業所見学と併せたミニ面接会を機動的に実施し、求人者と求職者の「出会いの場」を増加させ、就職と定着及び求人充足の促進に努めます。就職面接会については、岐阜局内の隣接所との合同開催をします。

(4) その他業務運営についての分析等

管内人口の減少や雇用失業情勢の改善等により、求職者数が減少する中であって、通勤可能な管外地域に就職する求職者が増加傾向にあり、今後管内の労働力不足が顕著となることが予想されます。このため、関係機関と連携した地元就職の促進のための方策に取り組む必要があると考えています。また、開拓求人の充足件数に伸び悩みがみられるため、事業所訪問等により企業情報を的確に把握し、正社員を中心とした求職者ニーズも踏まえた求人開拓・個別求人開拓に取り組めます。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 特記事項

- 雇用保険受給者の就職促進対策における担当者制による定期的な求人情報の提供、来所相談勧奨、紹介の実施
- 面接会（ミニ面接会）等の機動的な開催
- 就職面接会開催時におけるハローワークの事前マッチングによる求人者ブースへの面接勧奨（面接件数を増加させる取組）

4 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受接地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介 成功率	障害者の 就職件数	正社員 就職件数	開拓求人の 充足数				
実績	386	348	113	98.0%	97.1%	50.2%	25	183	189				
目標	361	339	79	90.0%	90.0%	39.1%	15	135	180				
目標達成率	107%	103%	143%			128%	167%	136%	105%				
(参考)過去3年度平均	384	356	93										

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク佐久 就職支援業務報告（平成 27 年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、就職件数の目標達成に向けて、正社員求人数、正社員就職件数及び雇用保険受給者の早期再就職件数の目標達成が重要であると考え以下の取組を行いました。

- ・正社員求人数については、窓口や事業所訪問時での依頼や求人への充足可能性の説明を行うとともに、事業主や事業主団体が出席するあらゆる会議、セミナー等の場において、非正規求人から正社員求人への転換や、正社員求人数の増加に向けて周知を実施。
- ・正社員就職件数については、毎週発行の求人情報で正社員求人を最初に並べて判りやすく表示。正社員求人は職種、資格、経験などのハードルが高いため、求職者に応募書類の添削や模擬面接などの支援を積極的に実施。
- ・雇用保険受給者の早期再就職件数については、①認定日に行う職業相談がより効果的なものとなるよう、事前にマッチングした求人を準備することの励行、②給付制限中の受給者への情報提供と来所勧奨、③初回講習（注）を従来の雇用保険の説明会と分離開催として時間を多くとり、早期再就職の優位性についての説明や再就職支援セミナーへの参加を勧奨、④職業訓練の受講勧奨（訓練施設の説明を含む）などを実施。

（注）「初回講習」とは、雇用保険受給者に対して行う求職活動の方法等を教示するなどによって、早期再就職を図るための集団指導のことである。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

利用者アンケートにおける求職者からのご意見（窓口対応への要望や待ち時間の長さについての要望）、求人者からのご意見（もっと多くの紹介を希望、助成金制度への要望）等がありました。

全職員でこれらについて情報共有し、利用者サービスの向上のための取組に活用しました。

（3）今後のサービス・業務改善の取組について

- ・今まで不十分であった「求人担当制」について、体制を確立して取り組みます。
- ・開拓求人、早期充足が可能な求人、急募求人、求人倍率の高い職種の求人、求人担当制の求人等々を対象に、安定所主導による「ミニ面接会」の定期的な開催に取り組みます。
- ・ひとりひとりに丁寧に対応し、担当制（求人情報提供、応募書類作成支援等）だけでなく適性検査、面接会・セミナーへの参加勧奨などのサービスを提供することで、より再就職が具体化するよう支援を広げていきます。

- ・「雇用保険の説明会から分離して開催している初回講習」において、事業主の声等(求人受理時や紹介時、採否通知の採用しなかった理由欄)も求職者に伝えるとともに、能力開発の重要性などを更に伝えて早期再就職の意欲向上を図っていきます。
- ・事業所の「画像情報の提供方法」について、前年度終盤から求人情報提供パソコン以外に紙ベースでも求職者が閲覧できるように取り組んでいます。平成 28 年度からこれを玄関ロビーに設置することとし、更に情報の更新に取り組んでいきます。
- ・各市町村が取り組んでいる雇用対策等について積極的に関わりを持ち、必要な協力、支援を行い、更なる「地方自治体との連携の推進」を図るよう取り組みます。(平成 28 年度に佐久市及び小諸市が計画している企業ガイダンス、就職面接会へ参画)

(4) その他業務運営についての分析等

- ・当所管内は過去には製造業と建設業が主力産業でしたが、近年第 3 次産業が急速に発展、増加しました。このため、一定年齢層以上の住民、求職者は第 2 次産業就業者または就業経験者が多く、現在の求人の多数を占める第 3 次産業の勤務条件(就業時間、休日等)がニーズに合わず、職種や条件でのミスマッチが大きい状況にあります。このため、求人者、求職者双方へ労働市場等に関する説明や条件緩和等の働きかけを行う必要があります。
- ・加えて、地域によって季節による業務の繁閑や、交通の不便によるミスマッチも多い状況です。特に南部の県境地域では、生活基盤が越県化しており、地理的に当所まで遠いため、求職者の利用も少ない状況があります。今後はこういった地域での求人開拓を積極的に進めるなど、当該地域の求人者、求職者のハローワーク利用を高める必要があります。
- ・平成 28 年度は更なる基本業務の徹底やマッチングの制度を高め、職員の意識の向上も図りながら体制を確立し、目標達成に向けて取り組みます。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 特記事項

- ・当所には小諸出張所がありますが、目標達成に向けた取組等において、体制的に本所と同様にできないことがあります。(初回講習(注)の分離開催等)
- ・毎月全体会議を開催し、所長からの進捗状況の分析説明や取組等の直接指示のほか、個々の求職者に対する理解や多様な支援の必要性などを研修的に行い、意識を高めました。

- ・平成26年度は2件（累計4回）250名の大型人員整理があり、前年（過去3年）の就職件数、雇用保険受給者の早期再就職件数に大きく影響していますが、平成27年度はこういった事例はありませんでした。（平成25年度は3件276人、平成24年度は8件319名の人員整理がありました。）
- ・フリーターの就職については、当所はトライアル雇用の実績が92件と多く（12所中2番）、フリーターの就職実績に算定されないものの、95.4%の達成率となりました。

4 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介 成功率	学卒ジョブサポーターの支援による正社員就職件数	正規雇用に結びついたフリーターの件数	正社員 求人数	正社員 就職件数			
実績	3,766	3623	896	99.0%	99.4%	27.5%	266	374	7,026	1,625			
目標	3,863	3689	953	90.0%	90.0%	23.2%	146	392	6,596	1,713			
目標達成率	97%	98%	94%			119%	182%	95%	107%	95%			
(参考)過去3年度平均	4,111	3,810	947										

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク大町 就職支援業務報告（平成27年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、「生活保護受給者等の就職件数」、「学卒ジョブサポーターの支援による正社員就職件数」、「開拓求人の充足数」の取組の目標達成を最重要と考え、重点的に進めることとしました。

「生活保護受給者等の就職件数」については、大町市と北安曇福祉事務所へ定期的な巡回相談（8回）を実施したほか、信州パーソナル・サポート事業大北圏域の支援調整会議に参加（14回）するなど福祉機関や自立相談支援事業者と連携した就労支援を実施しました。

また、児童扶養手当受給者の現況届の提出時期に併せ、出張相談（大町市、松川村）も実施しました。これらにより、支援対象者数は44人、うち就職件数は目標16人に対し36人となりました。

「学卒ジョブサポーターの支援による正社員就職件数」については、未内定学生や既卒者等に対し個別の就職支援を行い、学卒ジョブサポーターの支援による正社員就職件数は、目標37件に対し76件となりました。

また、管内市町村と事業主団体等と共催し、IUターン希望者と新規学卒者等を対象とした就職面接会を単独で新たに開催しました。参加企業23社、参加者35名のうち5名が管内企業に内定しました。また、高校3年生を対象に「大北の企業を知ろう！」（企業のプレゼンテーション）も併せて開催し22名が参加しました。本事業は、事業主や各高校からも好評を得、また、自治体からも事業継続の要望をいただいております。

「開拓求人の充足数」については、求人者支援員が開拓した求人を対象に、毎週、求人充足会議を開催し、紹介と事業所部門職員による求人担当者制を実施し早期の充足対策を集中的に行いました。これにより、開拓求人の充足数は、目標173件に対し、324件の充足を図ることができました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

利用者アンケートでは、利用者の全体的な満足度は求人者100%、求職者は99%となりました。各サービスについては、事業所に関する詳細情報を期待する求職者の声が多かったことから、これまで収集した事業所の画像や生産品目等の情報に加え、より多くの事業所情報を収集していきます。また、事業所訪問時には、求職者情報の提供により積極的なマッチングを図ります。

(3) 今後のサービス・業務改善の取組について

管内の主要産業である建設業、介護福祉事業及び宿泊業等のサービス業においては、人手不足が慢性化し、また、製造業についても、若年者の人材確保が困難な状況にあります。

このことから、人手不足分野の事業主に対しては、引き続き求人条件の緩和指導を行いながらマッチングに努めていくほか、特に介護福祉事業については、福祉ジョブセミナーを活用し求人事業主のプレゼンテーションを実施するほか、ミニ面接会の開催により介護福祉求人への充足を促進していきます。

また、管内自治体との共催による「新規学卒者等及びIUターン者対象の企業説明会（就職面接会）」を継続的に開催し、当地域における若年者の人材確保を図っていきます。

(4) その他業務運営についての分析等

管内は、製造業が少ない上、建設業や観光業によるサービス関連の季節求人が多く、職種によるミスマッチや通年雇用の促進が課題となっています。また、有効求職者も減少傾向にあり、一層充足が困難となっています。このことから、地方新聞に管内の雇用情勢や求人情報を定期掲載したほか、ミニ面接会や訓練情報なども積極的に地域住民へ広報し、求職者のハローワーク利用を促進しました。

ミニ面接会は29回開催し、就職件数20人、充足数12人となりました。今後も正社員求人への開拓を実施し常用雇用への就職を促進していきます。

また、求職者担当制による就職支援を実施したほか、紹介部門職員が事業所を訪問し、求める人材像など企業の詳細情報を収集しました。引き続き、職員の資質向上を図りながら効果的な就職支援に努めていきます。

2 総合評価 (※)

非常に良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 特記事項

4 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職者数	求人 充足数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職者数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介 成功率	生活保護受 給者等の就 職件数	学卒ジョブサ ポーターの 支援による 正社員就職 件数	開拓求人 の 充足数				
実績	941	823	242	100%	99%	31.2%	36	76	324				
目標	893	794	260	90%	90%	26.4%	16	37	173				
目標達成率	105%	104%	93%			118%	225%	205%	187%				
(参考)過去3年度平均	985	840	271										

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク須坂 就職支援業務報告（平成27年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

年度当初に工場の県外移転に伴い大量離職者が発生する事案があり、今後の対応を協議するため管外（長野市等）の関係行政機関を含めた「地域雇用対策推進協議会」を開催のうえ、各機関における支援措置等の情報交換等を行い、緊密に連携を図る体制を構築しました。また、正社員求人の確保と早期の再就職支援が急務であったため、須坂市と連携し、5月に早期就職に向けた「求職者向けセミナー」を開催、更に8月には当該離職者を含めた「就職面接会」を開催する等迅速な対応に努めました。その結果、早期就職に結びつけることができ、また、このことが年間の数値目標達成にも繋がったものと考えられます。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

これまでは新規求職申込時のアンケートにより就職希望時期、重視したい条件、パソコンの操作度、ダイレクトメールの希望有無、及び希望する支援等について確認を行っていましたが、現在の雇用環境や求人の状況をまだ十分に理解できていない段階においては緊要度（注）が明確でない求職者が多いため、よりの確な緊要度等の把握が必要と考えました。そのため、新たに「初回認定日アンケート」を実施し、緊要度の的確な把握や受給者の態様に応じた支援サービスの充実に努めました。

（注）「緊要度」とは、求職者の就職を急ぐ程度とハローワークによる相談・紹介等の援助に対する期待度のことである。

（3）今後のサービス・業務改善の取組について

求職者が減少傾向にある中で、求職登録の有効期限切れ（雇用保険支給終了時）となった者には、これまで就職に至らなかった原因を分析するとともに、就職への期待度が高い者に対しては引き続き求職登録を促し、担当者制等により継続的な就職支援に取り組むこととします。

また、求職者のニーズを踏まえ、求人者支援員が中心となって正社員求人の確保を図り、就職件数及び充足数を向上させていきます。

更に、慢性的な人手不足業種である看護分野においては労働力不足が深刻な状況にあることから、新たに看護分野への就職を希望している求職者や資格を有する潜在的求職者に対して福祉ジョブセミナーの受講勧奨に加え、看護職のプレ相談会等への参加勧奨も行い、労働力不足の解消に努めていきます。

(4) その他業務運営についての分析等

新規求職者アンケートによると、応募書類の記載方法や面接に不安を抱えている求職者が依然として多く見受けられるため、窓口支援に加え、自分の強みを知ることや就職意欲の喚起を図ることのできる就職支援セミナーへの受講勧奨を引き続き積極的に実施することとします。

また、上記セミナーを受講した者に対しては、担当者制による職業相談や定期的な求人情報の提供等、受講終了後のフォローを確実に行うなどにより、就職促進を図ります。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 特記事項

4 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介 成功率	学卒ジョブ支 援による正 社員就職件 数	正社員求人 数	介護・看護・ 保育分野の 就職件数				
実績	1,599	1,448	328	96.7%	98.2%	27.2%	79	2,710	189				
目標	1,595	1,429	299	90.0%	90.0%	23.3%	67	2,621	183				
目標達成率	100%	101%	110%			117%	118%	103%	103%				
(参考)過去3年度平均	1,661	1,496	298										

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク諏訪 就職支援業務報告（平成27年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、就職件数の目標達成を最重要と考え、職業相談等に携わる職員・相談員のマッチング能力向上研修、求職者担当制やミニ面接会の実施などの取組を行いました。特にマッチング能力向上研修は年間60回開催し、職業相談の資質向上に寄与しました。また、ミニ面接会は年間90回開催し、うち就職件数が36件と効果があり、参加した事業所からも継続を強く要望されています。

さらに、求職者情報の提供について、以前は雇用保険受給者のみを対象に行っていましたが、27年度からは、新たに一般の求職者も情報提供の対象とする取組を開始しました。この取組により、事業所からの問い合わせが大幅に増加するとともに、高い評価をいただいています。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

利用者アンケートでは、事業所詳細情報への期待度が58.7%と高い反面、満足度が34.1%と低いため、職業相談担当職員による求人事業所訪問の回数を増やす等、求人票の記載以上の情報収集を積極的に行い、職業相談の際、詳細情報の提供に活用しました。（26年度14事業所42人訪問、27年度18事業所59人訪問）

また、事業所が採用を決定した際、何をポイントに採用したのかを幅広く把握する目的で、他のハローワークの好事例を参考に、採否結果通知書内に事業所から「採用した決め手」を記載していただくための記載枠を設け、「採用の決め手」事例を多数収集し、求職者に対する相談時に情報提供等するなどにより活用しました。

（3）今後のサービス・業務改善の取組について

平成27年度は求人充足件数が目標未達成となったことから、平成28年度は、新たに当所独自での開催を計画している、求職者を対象とした「再就職ガイドセミナー」終了後に、正社員求人等提出事業所の参加を得たミニ面接会（管理選考）をセット開催する等、充足効果が高まる改善を図ることとします。

（4）その他業務運営についての分析等

平成27年度は、当所管内の主要産業である製造業を中心に正社員求人の開拓を実施しましたが、新規求人全数に占める正社員求人割合が年度平均で36.4%と低水準であったため、今後は、正社員求人開拓の重点を製造業以外の医療・福祉分野等へも広げ、できるだけ多くの正社員求人を受理できるようにします。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 特記事項

4 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介 成功率	生活保護受 給者等の就 職件数	学卒ジョブ支 援による正 社員就職件 数	フリーター等 の就職件数	正社員求人 数			
実績	3,728	3,622	944	96.2%	99.1%	26.8%	140	220	457	6,853			
目標	3,666	3,686	892	90.0%	90.0%	22.4%	93	204	474	6,646			
目標達成率	102%	98%	106%			120%	151%	108%	96%	103%			
(参考)過去3年度平均	3,778	3,854	921										

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

平成28年度ハローワークのマッチング機能に関する業務の評価・改善に係る目標数値

長野労働局

○【主要指標】 マッチング機能に関する指標（全安定所が取り組む）

就職件数(常用)

	局計	長野	松本	上田	飯田	伊那	篠ノ井	飯山	木曾福島	佐久	大町	須坂	諏訪
H28年度目標	35,443	4,849	6,348	3,547	3,046	2,930	3,057	1,434	352	3,754	890	1,556	3,680

(ハローワークの紹介で常用就職した件数)

充足件数(常用・受理地ベース)

	局計	長野	松本	上田	飯田	伊那	篠ノ井	飯山	木曾福島	佐久	大町	須坂	諏訪
H28年度目標	35,043	5,634	6,126	3,445	2,904	2,868	3,229	1,239	325	3,541	783	1,395	3,554

(ハローワークが受理した常用求人の充足件数)

雇用保険受給者の早期再就職件数

	局計	長野	松本	上田	飯田	伊那	篠ノ井	飯山	木曾福島	佐久	大町	須坂	諏訪
H28年度目標	9,140	1,132	1,855	842	766	871	780	366	99	942	255	306	926

(雇用保険の基本手当の所定給付日数を3分の2以上残して早期再就職する件数)

○【補助指標】 マッチング業務の質を測定する指標（全安定所が取り組む）

求人者向け調査における満足度

	局計	長野	松本	上田	飯田	伊那	篠ノ井	飯山	木曾福島	佐久	大町	須坂	諏訪
H28年度目標値	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上

単位：%

求職者向け調査における満足度

	局計	長野	松本	上田	飯田	伊那	篠ノ井	飯山	木曾福島	佐久	大町	須坂	諏訪
H28年度目標値	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上

単位：%

紹介成功率(常用)

	局計	長野	松本	上田	飯田	伊那	篠ノ井	飯山	木曾福島	佐久	大町	須坂	諏訪
H28年度目標値	23.6	20.5	20.6	20.9	30.0	25.8	23.1	31.6	42.3	25.7	28.1	24.3	24.9

単位：%

求人に対する紹介率

	局計	長野	松本	上田	飯田	伊那	篠ノ井	飯山	木曾福島	佐久	大町	須坂	諏訪
H28年度目標値	25.4	24.9	26.6	26.2	25.3	25.3	27.4	23.4	18.8	23.0	21.9	26.0	26.4

単位：%

求職者に対する紹介率

	局計	長野	松本	上田	飯田	伊那	篠ノ井	飯山	木曾福島	佐久	大町	須坂	諏訪
H28年度目標値	24.3	25.6	23.4	22.8	25.2	23.1	25.8	24.7	18.7	24.3	24.9	27.3	24.1

単位：%

○【所重点指標】 地域の課題を踏まえ、特に重点的に成果を上げる必要がある業務に係る指標

(区分されるグループ毎に指定された数を選択して取り組む)

選択する安定所

生活保護受給者等の就職件数

	局計	長野	松本	上田	飯田	伊那	篠ノ井	飯山	木曾福島	佐久	大町	須坂	諏訪
H28年度目標	830						42	46			42		110

障害者の就職件数

	局計	長野	松本	上田	飯田	伊那	篠ノ井	飯山	木曾福島	佐久	大町	須坂	諏訪
H28年度目標値	1,981	308	384	153		164				192			

学卒ジョブの支援による正社員就職件数

	局計	長野	松本	上田	飯田	伊那	篠ノ井	飯山	木曾福島	佐久	大町	須坂	諏訪
H28年度目標値	2,970	709	407							197			

正規雇用に基づいたフリーター等の就職件数

	局計	長野	松本	上田	飯田	伊那	篠ノ井	飯山	木曾福島	佐久	大町	須坂	諏訪
H28年度目標	3,928					299	406				54		433

マザーズハローワーク事業の担当者制による就職支援を受けた重点支援対象者の就職率

	局計	長野	松本	上田	飯田	伊那	篠ノ井	飯山	木曾福島	佐久	大町	須坂	諏訪
H28年度目標	88.5%	88.5%	88.5%	88.5%	88.5%	-	-	-	-	-	-	-	-

単位：%

正社員求人数

	局計	長野	松本	上田	飯田	伊那	篠ノ井	飯山	木曾福島	佐久	大町	須坂	諏訪
H28年度目標	58,942	10,333	11,981	6,457	6,090	5,510		2,202	781	6,497		2,554	6,537

正社員就職件数

	局計	長野	松本	上田	飯田	伊那	篠ノ井	飯山	木曾福島	佐久	大町	須坂	諏訪
H28年度目標	16,285	2,195	2,979	1,635	1,498	1,391	1,428	642	156	1,700	345	674	1,642

介護・看護・保育分野の就職件数

	局計	長野	松本	上田	飯田	伊那	篠ノ井	飯山	木曾福島	佐久	大町	須坂	諏訪
H28年度目標	3,900						363		40			164	

開拓求人充足数

	局計	長野	松本	上田	飯田	伊那	篠ノ井	飯山	木曾	佐久	大町	須坂	諏訪
H28年度目標値	6,900				777								

目標達成に向けた主な取組内容

就職件数	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 求職者担当制の実施 【双方向性の求職者担当制の実施】 専任実施担当者を決め、予約相談等により原則マンツーマンで相談を行い、求職者の課題の把握、積極的なマッチングによる求人情報の提供、応募書類作成支援等、個別のニーズに合わせたきめ細かな就職支援を実施する。 【双方向に限らない(一方向性)求職者担当者制の実施】 実施担当者は、常に対象求職者の求職活動状況を把握して、的確なマッチングによる求人票の送付等による来所勧奨を行い就職促進を図る。 ➢ 紹介部門職員の事業所訪問 月単位・年間単位で訪問計画を定め、訪問後のマッチングを念頭に、仕事内容や求人者ニーズの把握を行う。また、求職者の動向等を伝え、充足のための求人条件緩和を肯定的に提案していく。
求人充足件数	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 求人に対する担当者制の実施 求人部門の職員等が、求人開拓した正社員求人、条件緩和指導に応じた求人及び人材確保が必要な業種における正社員求人を中心に、求人担当者制による早期の求人充足を図る。 ➢ 管理選考(ミニ面接)の実施 主に正社員求人を提出した求人者を対象に、求人・職業紹介部門が連携して安定所が主体的に運営を行い求人充足を図る。 ➢ 事業所画像情報の収集 求職者に対して、求人票以上の事業所情報の提供を目的として、画像情報の収集・提供を行う。数年前に撮影された画像情報のメンテナンスも必要であるため、求人票の提出に合わせて職場環境等の変化に伴う新たな画像情報の収集も図る。 ➢ 職員及び求人者支援員の事業所訪問 月単位・年間単位で訪問計画を定め、事業主との信頼関係の構築、管内雇用動向の把握、仕事内容の理解、正社員求人確保等のため、求人者支援員はもとより、求人部門の職員、所長等幹部職員も積極的に事業所訪問を実施する。
雇用保険受給者の早期再就職件数	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 早期あっせん対象者に対する求人情報の提供 早期あっせん対象者に対し初回認定日までに事前マッチングを経た求人情報を提供する。 ➢ 双方向性の求職者担当者制の実施 緊要度が高く、個別支援により早期再就職が期待される求職者について、正規職員による双方向性の求職者担当者制を実施する。